

## 第30回福岡地域審議会会議録

と き：平成27年11月24日(火)午前10時00分

ところ：福岡庁舎4階 401会議室

### 出席者

#### ○高岡市

高橋市長、林副市長、金谷総務部次長、草壁経営企画部長、二塚都市経営課長、本田高齡介護課長、森田秘書課長、水上福岡総合行政センター所長、高畑福岡総合行政センター次長、川尻地域振興課長、堀経済振興課長、岩崎市民生活課長、佐伯福岡まちづくり推進室長、梨木福岡まちづくり推進室総括専門員、谷内福岡教育行政センター所長

#### ○委員（50音順）

朝静子委員、大道悦子委員、大道哲郎委員、参納幸雄委員、島倉憲治委員、島次武雄委員、高田憲弘委員、田畑公生委員、中山里美委員、濱木慶子委員、平野栄一委員、藤田繁委員、村上委千子委員、割田貞夫委員

#### ○欠席者

吉田重成委員

### 1 開 会

午前10時

#### 【事務局】

本日は、お忙しいところご出席賜りまして、誠にありがとうございます。  
ただいまから、第30回福岡地域審議会を開催いたします。

### 2 会長挨拶

#### 【事務局】

開催にあたり割田会長からごあいさつをお願いします。

#### 【割田会長】

本日はお忙しい中、委員の皆様にはご出席いただきありがとうございます。また公務ご多忙の中、高橋市長、林副市长、関係部局の方にご出席いただきありがとうございます。後程、事案の説明、各委員の質問にご回答いただけるようお願い申し上げます。

去る11月1日に合併10周年の記念式典がございました。盛大に記念式典がUホールで開催されております。合わせて、石澤さん、大澤さんの名誉市民の称号式や高岡市民の歌「ふるさと高岡」の発表、そして市長さんと作詞、作曲者とのフォーラムが開催され、華やかさと和やかさがあった記念式典ではなかったかなと思います。私も10年前合併事務に携わっておりましたので、10年早いなと会場で思っておりました。当時の懐かしい顔も見れましたし、10年経過したんだなという思いでおりました。

この10年間で新市建設計画の福岡小学校をはじめとして、文教ゾーンの整備、道路など、ほとんどがかなりの部分で完成を見ております。駅前などは継続で行っておりますが、毎日工事業者の方の動きが見て取れます。もう少し時間はかかるかもしれませんが進んでおります。自治会長もしております、自治会からの要望を校下で練り上げて、毎年市の方に要望しております。そのことにつきましても着々と進展しております。この10年の間事業の進展というものに市の方のたいへんなご努力、議員の方々関係者の方々のご努力、ご尽力に大変感謝申し上げたいと思います。

高岡市全体を見ても高岡駅の改修、新高岡駅の完成、周辺整備、環状道路の建設を取り巻く状況も10年前と比べると大変進展しております。前にも申し上げましたが、新幹線の開通初年度言うことで、いろいろなところでたくさんの方がお見えになっておられます。これから富山、金沢40数万都市が両隣にありまして、都市間競争の中でかなり厳しい部分が出てくるのかなと思います。そこは高岡は市長さんが一生懸命文化都市創造ということで進められております。魅力ある高岡市として、文化を活かしたまちづくり、子どもたちあるいは高齢者、介護、教育などの住みやすい環境づくりも大事でしょうし、福岡も含めて中田、伏木、戸出も伝統ある地域づくりを進めることも魅力ある高岡市の有り方ではないかなと思います。委員の皆様には、福岡地域の発展と同時に未来の高岡という広い視点をもって議論を進めていただきたいと思います。

本日は第30回の地域審議会であります。報告案件として3件、その他1件となっております。私どもも第5期の審議委員として公式の会議はこれが最後になるかもしれません。高岡市、福岡町それぞれ進展しましたので活発な議論をお願い申し上げます。あいさつに代えさせていただきます。

### 3 市長あいさつ

【事務局】

ありがとうございました。続きまして高橋市長からごあいさつを申し上げます。

【高橋市長】

本日は第30回の地域審議会となります。委員の皆様方にはお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

最近の状況について少しお話しさせていただきます。11月1日に新市誕生10周年記念ということでUホールで式典を開催しました。多くの方にお集まりいただきましたけれども、10年間の営みを振り返ることができ、今後に向けての大きなステップとなることを確認したということで大変有意義な式典であったかと思えます。この式典では、元町長で合併にも大変なご貢献を頂きました石澤さんに名誉市民ということでご推戴申し上げます。大変なご功勞のあった方、大きな指導力を持った方ありますので今回の推戴にふさわしい方であると思っております。あわせて、市民の歌も発表させていただきました。もともとそれぞれ歌がありました。歌というのは心を一にするという力があると思っております。合併いたしました折に新しく作らなかったのですが、5周年の時に議論をいたしまして、改めて10周年という大きな節目で、今一度新しい高岡市としての思いを一つにしようということでご賛同いただきまして作詞、作曲をお願いしたところでございます。作曲には、世界にも知られた作曲家でもあります三枝成彰先生、作詞の方は、歌詞を公募いたしましていい歌詞も頂きましたが、これだということにも至りませんで、歌の想いといったものも込めてお願いしたいということで、作家の林真理子さんをお願いをいたしまして、ふるさと高岡という名詞を作り上げていただきました。これを初披露いたしました。それぞれの方にとって思いを込めた歌でありまして、このように美しいまちに出会ったことがあるという問いかけをするように、我々が改めてまちを振り返って、まちのよさ、美しさをかみしめるというような歌詞となっております。たおやかなという言葉がでてきますが、しっとりとした文化の中である意味したたかな時代を乗り越えてくるたくましさというものも表現された歌詞になっているかと思えます。この歌を発展させていただきたいということで、それぞれの地域の思いや、時代時代の思いというものが市民の皆さんの力でこの歌に付け加わっていけば、長く時代を超えて歌っていただける歌として成長していくのではないかとということをご無礼だったかもしれませんが作詞、作曲の方の目の前で申し上げまして快く了承していただきました。市民の皆様の方でこの歌を大きく育てていただきたいという思いでございます。

この10年の間、高岡市にとって大きな出来事がたくさんございました。開町400年、50年来の懸案事項でありました新幹線開業といったことがありました。いろいろな公共施設の整備が進んできておりますけれども、福岡地区につきましても、都市建設計画に盛り込まれた合併の時の議論の成果については、着実に進んできているかと思えます。主な事業については、ほぼ達成できたのではないかと考えておりますが、一部区画整理事業、これに関連する駅前整備事業が残っておりますけれども、それぞれ着手しております、完成に向けて頑張っていきたいと思えます。これも地域審議会でも30回にわたり、皆様のご指導、叱咤激励を賜りながら事業を推進してきた、そして人々の心をつなげるように努力してきた結果ではないかと考えております、皆様に感謝申し上げます。

私どもは未来高岡総合戦略を策定いたしまして、それに沿って今後5年間の計画を進めてまいりたいと思えます。これらを含めまして、市全体の計画である総合計画の策定作業を進めております。いずれこれらを整合性の取れる形でまとめてまいりたいと思えます。先般策定しました未来高岡総合戦略は、昨今の人口減少といった国家的な課題にいかにか立ち向かうかということでございまして、これに対して地方それぞれが頑張っていこうということで、それぞれの地域が策定をしております。高岡でも将来の姿を描きながら、活力のある社会を作っていきたいと思えます。失速してしまいそうな日本全体の活力を地域で浮上させたいということでございまして、まち・人・仕事ということで3つの要素を日本全体で考えております。人ということで、これから人口減少を乗り越えていただく若い世代の方々に地域を元気にしていただく、そのためには若い方々にとって魅力的な地域社会を作っていこうということでございまして、そのうちのひとつとして大きな要素が魅力ある仕事づくりということであろうかと思えます。魅力ある仕事に関わりながら、人々が安心して子育てをし、人生の先輩であるご高齢の方のお世話をし、みんなが地域社会の中で安心して暮らせるまちを作ることが地域と仕事の項目でございます。高岡は経済という中では「モノづくり」のまちということで、製造業に特化したまちでございます。モノを売るということを生業としており、卸・小売りを動かす流通も発展しております。農業も豊かな米作に支えられた経済が成り立っていましたが、それぞれについて大変厳しい環境にございます。私どもこれにさらに交流の中で生まれる産業、情報の流通、あるいは観光といったことを何とか新しい高岡の産業の柱の中に位置付け、バランスの取れた産業構成を作る中で魅力ある仕事を作っていきたいと思えます。特に新しい業を興す創業ということにチャレンジをするようなエネルギーを若い人たちに持っていただきたいと思ひながら未来高岡総合戦略を策定いたして

いるところでございます。高岡市のいろいろな地域を回りながら行政の課題を承っております。いろいろなご意見を伺っておりますが、総じて申し上げますと、未来高岡総合戦略の課題でもありますが「活力」や「元気」といったことを頑張れと言ったお話を全般として多く承っております。「活力」や「元気」といったことは、行政ももちろん活力が循環していくような地域社会を作っていきたいと思っておりますが、その中では人の心の持ち方、前向きに挑戦していこうという気持ちを支える環境が大事だと思っております。高岡の強みである歴史や文化、育まれてきた人の営み、豊かな産業を支える自然という高岡の強みに誇りをもって時代の課題に挑戦していくことを目指してまいります。10周年という区切りとしての審議会でありましたのでこういうお話を申し上げました。

この後は進捗状況、大きな課題でございました駅前交流センターの進捗状況等についてご報告しながら、今後に向けてのご意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

#### 4 議 事

##### 【事務局】

ありがとうございました。

それでは、ここで市からの出席者を紹介させていただきます。

(市出席者紹介)

本日の会議は委員定数 15 名の内、吉田委員から欠席の報告を受けております。地域審議会設置規定の第 8 条第 4 項に規定する過半数を超えていますので、本日の会議は成立しているということを報告させていただきます。

それでは地域審議会設置規定第 8 条第 3 項の規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので割田会長よろしく申し上げます。

##### (1) 報告事項

それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。審議が円滑に進みますよう委員の皆様のご協力をお願いします。今回の会議は、①報告事項 3 件、②その他の案件 1 件となっております。

##### 【割田議長】

まず、「報告第 88 号 平成 27 年度福岡地域主要事業（新市建設計画）の進捗状況について」報告をお願いします。

【川尻地域振興課長】

それでは、お手元の資料No.1 に従いまして説明をいたします。

(地域振興課長から説明)

【割田議長】

ありがとうございました。ただいま報告のありました「報告第88号 平成27年度福岡地域主要事業（新市建設計画）の進捗状況について」何かご意見、ご質問はございますか。

【島次委員】

今後、福岡地域でも在宅介護サービスの増加が予想されます。高齢者の介護予防、健康増進策、高岡市の利用が決まっていない土地の有効活用策として、例えば大滝工業団地の企業誘致が具体化されるまでの間、高齢者の健康増進のため工業団地の土地をグラウンドゴルフの利用場所として活用できないかご検討願います。

高岡市は介護施設などの保健施設の整備が全国的にいい状態だと思います。介護サービスの質の向上は重要な課題になります。全国に比べて高い普及率の高岡市の介護施設の効果的な介護サービスの実現に向けて、人材確保がとても重要であると思っております。今後の介護サービスを担っていただける人材確保に向けて取り組んでいただきたいと思います。

【川尻地域振興課長】

工業団地については1年を通して企業誘致に向けてPR活動を行っております。工業団地の空いた土地については、商品としていろいろな方が見に来て判断されますので、定常化するような使い方は難しいと思いますが、地区の運動会などで一時的な利用については検討してもよいと思います。地元で有効な活用方法があればご提案いただき協議したいと思います。

【本田高齢介護課長】

介護人材の確保については、施設が増えていく中で厳しい状況にはございます。即効性のある手立てはなかなかないのですが、日頃からシンポジウムでありますとか介護のイベントを開催して県と協働して介護の人材確保、仕事の中身についてわかっていただくような取り組みを行っております。

【割田議長】

他にご質問等ありませんか。

【藤田委員】

今年度西山歴史街道の整備が進みましてありがとうございました。県による西山地区の急傾斜地の整備が完成したということで現場確認に行ったところ、あまりにも整備されているため、安全対策についても検討をお願いします。古墳や公園が整備されたので今後の維持管理についてもお願いします。墓地を購入した方も多いように見受けられます。墓地公園の整備を行い環境が良くなれば売れると思いますのでよろしくお願い致します。

【堀産業建設課長】

急傾斜地の工事は完了しましたが、安全については県と協議し、検討していきたいと思えます。

【岩崎市民生活課長】

少しずつお墓をお求めになる方が受付を進めております。今後も自治会の方とも協力して維持管理を進めきれいな墓地公園にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

【島倉委員】

新市建設計画の進捗状況について個別の取り組みについてはご説明いただいているのですが、全体の進捗状況はどうなっているのでしょうか。区画整理事業の家屋移転については順調に進んでいるように思われますが、課題や問題点があればお聞かせください。

【川尻地域振興課課長】

第1回の地域審議会で福岡地域で実施する事業について報告しましたが、10年が経過し完成したもの、事業に着手し進行中のものほとんどが概ね計画通り進んでいると考えております。区画整理事業については引き続き完成に向けて進めているところですが、全体としてはおおむね順調に進んでいると考えております。

【佐伯まちづくり推進室長】

区画整理事業については、平成 24 年度末の事業費ベースで総事業費 9.1 億円の内 5.1%になります。支障物件の移転率については、平成 27 年度末で、地区内の約 150 件の内約 75%完了する予定となっております。

【割田議長】

他に何かありますか。特にないようでしたら次へ進めていきたいと思います。続いて「報告第 89 号（仮称）福岡駅前交流センターの名称について」説明をお願いします。

【佐伯まちづくり推進室長】

資料No.2 をご覧ください。

（まちづくり推進室長より資料No.2で説明）

【割田議長】

ただいま説明のありました「報告第 89 号（仮称）福岡駅前交流センターの名称について」何かご意見、ご質問はございますか。

特にないようでしたら次へ進めたいと思います。続いて「報告第 90 号 高岡市福岡庁舎の利活用について」報告をお願いします。

【川尻地域振興課長】

資料No.3 をご覧ください。

（地域振興課長より資料No.3で説明）

【割田議長】

ただいま説明のありました「報告第 90 号 高岡市福岡庁舎の利活用について」何かご意見、ご質問はございますか。

【島次委員】

公共施設の無料 wifi 環境の整備をお願いします。

【草壁経営企画部長】

高岡市の wifi 環境の整備については、観光施設、公共施設について整備を行ってきたところです。現在、観光施設に 5 か所、公共施設には 62 か所設置してあります。必要などころには概ね設置してあるという認識です。今後の整備方針としては、新しくできる施設について設置していくことになると思います。観光施設については、県下全体



で統一した規格の wifi を導入していこうという動きもございますので、更新のタイミングを見計らい使いやすい仕組みに順次入れ替えていきたいと思っております。

【割田議長】

他に何かご意見はありますか。

【濱木委員】

庁舎を利用する際に給湯室を利用してもいいのでしょうか。ボランティア団体であれば減免対象となるのでしょうか。県の施設では減免される施設もあるのですが、福岡庁舎はどのようになるのでしょうか。

【川尻地域振興課長】

福岡庁舎の会議室の利用については、開庁時間内で庁舎内の団体の利用がない場合であれば無料でお貸ししたいと思います。会議のお茶については、隣接するUホールに準じて、原則それぞれの団体でご用意をお願いしたいと思います。総会などの特別な事業でご利用される場合はご相談いただきたいと思います。より良い方向で進めていきたいと思っております。

【濱木委員】

気持ちよく施設が使えるようになればいいと思っております。

【割田議長】

他に何かご意見はありますか。

【大道悦委員】

菅っことして活動をしているので庁舎の利用をさせていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

【川尻地域振興課長】

菅っこの活動については地域振興課でも力を入れて支援をしていきたいと思っております。福岡の菅笠技術が絶えないようにいろいろなボランティア団体の方が支えてくれている状況です。空いている会議室でこちらから活動をお願いしたいと思います。

【割田議長】

他に何かご意見はありますか。

【村上委員】

福岡庁舎の会議室については、公共の団体以外でも使用料を支払えば営利団体も利用することができるのでしょうか。

【川尻地域振興課長】

福岡庁舎の場合は事務所という扱いになっておりますので、使用料を頂くような環境にはなっておりませんので、そうであればUホール等の使用料規定に基づいて利用させていただきたいと思います。事務所という扱いであることから、鳴り物等の利用についても福岡庁舎では難しいと思いますので、隣接するUホールや駅前の福岡にぎわい交流館等の利用も考えてバランスよく利用させていただきたいと思います。

【村上委員】

福岡庁舎 2 階のUホール研修室はUホールと考えればいいのでしょうか。

【川尻地域振興課長】

2 階の研修室についてはUホールと考えていただいて結構です。夜間や祭日でも利用できるような形になっております。

【割田議長】

他にご質問はありますか。特にないようですのでこれで報告事項を終了し、次のその他案件に入りたいと思います。「第 29 回地域審議会「10 年を振り返って」の感想・要望・質問用紙について」説明をお願いします。

【川尻地域振興課長】

資料No.4 をご覧ください。

(地域振興課長より資料No.4 で説明)

【割田議長】

皆さんでご確認いただいているところですが、追加で何かありましたらお願いします。

【濱木委員】

島田邸に雨漏りがしており、このまま冬を迎えると朽ちてしまうのではないかと心配です。佐伯邸についても茅葺の葺き替えをされたと思うのですが、それも捲れているような気がします。そのままの状態では保存しなければならないのはわかるのですが、外側が障子戸のため風雨で破れてしまう状態で保存されているため何らかの手を打たなければならないと思います。

【谷内福岡教育行政センター所長】

島田邸については、絶えず雨漏りをしている状況ではなかったと思いますが、現場を調査して対応を検討したいと思います。佐伯邸についても現場を確認させていただいて今後の対応を考えていきたいと思います。

【割田議長】

他に何か意見はありますか。

【朝委員】

高岡市は無電柱化をどのように進めていく予定なのかお聞かせください。

【佐伯まちづくり推進室長】

高岡市の無電柱化する地域の考え方は、山町筋、八丁道、JR新高岡駅周辺など良好な都市景観形成に重点を置いて、快適な歩行者空間の確保や歴史的な街並み保全などの観点から実施しております。高岡市景観計画における優先的に景観形成を図る地域を基本に取り組んでいきたいと思います。

【朝委員】

県道岡笹川線の岸渡川から菘川にかけての道路改修に伴って無電柱化を進めていく計画はあるのでしょうか。

【佐伯まちづくり推進室長】

無電柱化する際には、電線管理者との協議が必要になります。富山県では平成26年から31年までの5か年計画を作っており、計画路線には含まれておりません。福岡

地域で無電柱化を予定しているのは福岡駅前土地区画整理事業区域内の国道 8 号線、駅前広場、駅前線を予定しております。

【朝委員】

電線というのは景色を悪くしていると思うので、福岡だけでなく伏木駅前や吉久についてもなるべく早く進めていただきたいと思います。

【佐伯まちづくり推進室長】

無電柱化と言いましてもいろいろな手法がございます、地下に入れる手法や軒下配線といった手法もございます。景観に見合った手法で検討してまいりたいと思います。

【割田議長】

他に何かありますか。

【田畑委員】

市民 1 人当たりの一般会計債が現在約 60 万円とのことですが、旧福岡町時代の約 40 万円と比べると 1.5 倍になっています。歳出に関しては地域審議会などで討議する場が設けられていますが、歳入についても市民が参加して議論したり考えるような場があればいいのではないのでしょうか。

【草壁経営企画部長】

歳入については景気の動向や国の制度に影響される部分もあります。仕事づくりを行い、企業活動を活発化することが歳入増に繋がることから企業の経済活動をお手伝いしていくことが大事なことなのかなと思います。歳入確保策に向けた取り組みの一例としてふるさと納税に代表されるような様々な取り組みを組み合わせながら歳入確保に努めてまいりたいと思います。

【割田議長】

借金が増えてきており、市民が参加して歳入増に繋がらないかという話であるように感じたのですが、市役所の歳入は国からの交付税や固定資産税などある程度決まっております。法律や条令で歳入の仕方がある程度決まっているため民間とは少し違う状況です。

【田畑委員】

たくさん税金を納めている方が偉いということでもないのですが、税金を納めたら評価されるような仕組みもプロモーションになるのではないかと思います。収入を増やすような取り組みを行った方がよいのではないかと思います。

【草壁経営企画部長】

税金は法律に従って、義務で納めていただくような性格ですので評価するというのはちょっと違うのかなと思いますが、自主的な歳入確保の努力は大事なことだと思います。先ほど申し上げたふるさと納税のような高岡の取り組みや地域資源に注目していただけるよう頑張っていきたいと思います。

【高橋市長】

歳入が決まっているからということではなく、納税者に対する行政の敬意や感謝の念の問題であるという風にきいておりました。職員にも話しているのですが、私たちは決まったお金でサービスを提供している感覚になりがちですけれども、サービスを受ける側の立場になって仕事をするということが本来の仕事であると思います。今のお話はある意味私たちへの戒めとして伺っておきたいと思います。

【割田議長】

他に何かありますか。

【島次委員】

高岡市に住んでいますと特徴や強みが見えづらい部分があります。海外から観光に来られた方の声をお聞きいただき、分析し高岡市の強みとして発揮していただければと思います。

【割田議長】

海外から来ていただくことも大変重要だとは思いますが、海外に出てみるということも地域をよくするために必要だと思います。海外に出て地域を振り返ってみるということも重要であると思っております。

【高橋市長】

これについては、全体が終わった中でお話ししたいと思います。

【藤田委員】

人口減少に対して何らかの対策を講じなければならないのではないのでしょうか。

【草壁経営企画部長】

人口減少については、出生率の低下以外にも社会増減がマイナスになっている状況も問題であると認識しています。転出超過については、すぐに取り組みなければならない問題なので、若者世代の人口流失対策として仕事を作っていくこと、40代、50代の移住、定住者の増加、女性の活躍の後押しなどの政策を行い人口減少に立ち向かっていきたいと思います。

【島倉委員】

企業誘致についての対応はどうなっていますか。

【草壁経営企画部長】

国でも東京一極集中を問題視しており、本社を地方に移転する際に税制上の優遇措置を設けるなどしていることから、その流れに乗って企業誘致を進めていければと思います。

【島倉委員】

企業誘致の組織や専門の方はいるのでしょうか。

【高橋市長】

東京等に専属の職員がいるわけではありませんが、企業誘致専門の組織と委託契約を結ぶことで専任のスタッフを持ってもらっており、首都圏の企業の情報を集めております。高岡の公的企業団地の内、戸出が完売し、大滝と四日市にも入居があるので、次のステップについてこれから考えていかなければならないと思います。企業誘致の際に設備投資への助成策を講じるなどメニューを多様化しております。

【割田議長】

他に何かありますか。ないようであれば、市長さんから最後に一言お願いします。

【高橋市長】

地方は国と比べて財政的な制約が強いので、歳入に合わせて政策を組み立てる必要があると思います。物事の優先順位が重要になるため、選択と集中を心がけております。これからの人口減少になってまいりますと、ますますこの要素が強くなっていく中で、いかに元気・活力を保ちながら将来に備えていくかが課題であります。

公助、共助、自助ということもいわれておりますが、行政と住民が共に考えていく分野もあると思います。その中には先ほど話にもあったふるさと納税などがあると思います。

最近クラウドファンディングのように組織が個人に協力を求めたりできるようになっていることから仕事のやり方が相対化していると思います。

無電柱化のお話がありましたが、市道や生活道路で電線を埋設すると大変なコストもかかるので軒先に電線を這わせたり、通りの裏に電柱を立てる仕組みもございますが、地域の方々のご理解も必要になるので、景観をどうするのかということを経験の方々で相談していく必要があると思います。

文化財については、いろいろな人に見ていただき地域の文化の深さを感じていただくために、個々の施設ではなく文化財どうしを意味づけすることにより文化財の価値を高めていきたいと思っております。

国際化については、海外の方に wifi スポットから高岡の良さを発信してもらうため wifi スポットを整備していきたいと思っております。滝田洋二郎監督に高岡の PR ビデオを作成してもらっており、年度内には発表したいと思っております。海外のメディアの方に高岡に来ていただき海外のメディアの目を通して高岡を紹介する事業も行っていきたいと思っております。

今日は福岡の課題もたくさん出ましたが、人口減少下における仕事の進め方、有り様について貴重なご意見を伺ったと思っております。人口減少解決のためには、最終的には住んでいる人が自分の地域をいいところだと思いながら発信していくことが必要だと思っております。そのために行政も魅力のある仕事づくり、人づくり、地域づくりを進めてまいりたいと思っておりますので今後ともご協力をお願いします。

【割田議長】

ありがとうございました。事務局から何かありますか。

【事務局】

特にありません。

【割田議長】

それではこれで第30回福岡地域審議会を閉会します。委員の皆様におかれましては長時間の審議お疲れ様でした。